

2025

7.27^日

10:30~12:00

会場

J:COM
ホルトホール大分
303会議室

大分県大分市金池南1丁目5-1

講師

馬場 悠男氏

国立科学博物館名誉研究員
日本歯科大学客員教授
座間市教育委員

人類は噛んで 進化した

「骨から探る人類史」



80万年前の
ジャワ原人

種が違う
進化現象

戻せない



9000年前の
縄文人

同じサピエンスの
虚弱化現象

鍛えれば戻せる



第10代将軍家
治正室
「心観院」

食生活が作る顔

「保険でより良い歯科医療を」
大分県連絡会 県民講座

※みんな、私が研究させてもらった人骨です

講師 国立科学博物館名誉研究員
日本歯科大学客員教授、座間市教育委員

馬場 悠男氏



略歴

1945年、東京生まれ神奈川県育ち。
1988年から国立科学博物館主任
研究官、1996年から同人類研究部
長および東京大学大学院理学系研
究科生物科学専攻教授(兼任)、
2009年定年退職。

顎と歯を見ると、人類が何を食べて、どのように進化してきたかがわかる。300万年前の猿人は、硬い豆や草の根を噛むために、顎が頑丈で臼歯が発達していた。

道具や火を使い肉を食べ始めた200万年前の原人以降では、徐々に顎と歯が小さくなったが、1万年前の縄文人では我々現代人に比べるとはるかに頑丈な顎とみごとな歯並びを保っていた。ところが、現代の若者や子供たちは、甘やかされた(甘やかされたい!)食生活によって、顎は華奢になり歯並びが乱れている。そんな状態を、江戸時代に先取りしていた徳川将軍とその親族の例をヒント(反面教師?)とし、何とか改善して、健康寿命を延ばしたい。

「保険でより良い歯科医療を」 大分県連絡会

私たち「保険でより良い歯科医療を」大分県連絡会は、「誰もが、いつでも、どこでも、安心して、安全な歯科医療」を受けられるよう、歯科保険医療制度の改善を進め、国民の口腔の健康を守ることを目的に活動しています。

歯科医療を良くするために県民講座や歯の無料電話相談の開催を行っています。

皆さんと一緒に歯の大切さについて考える場として、県民講座へのご参加をお待ちしています。



ACCESS MAP

J:COM ホルトホール大分 303会議室

大分県大分市金池南1丁目5-1

主催

「保険でより良い歯科医療を」大分県連絡会

870-0951 大分市大字下郡1602-1大分県保険医会館1F
TEL:097-568-0066 FAX:097-568-1570

【参加申込書】

「保険でより良い歯科医療を」大分県連絡会 県民講座 参加します()人

お名前	所属団体	電話番号
-----	------	------

ZOOMで視聴希望の方は、大分県保険医協会ホームページよりお申込み下さい。
<https://www.oita-hokeni.com> 大分県保険医協会 で検索



参加のお申し込みは **FAX 097-568-1570** までご返信ください